



学校だより

墨田区立立花吾孺の森小学校
http://www.sumida.ed.jp/tachiazusho/

令和5年1月31日
2月号/第207号
13学級 359名
墨田区立花 1-18-6
電話：3618-4911
校長 向井 一郎

2月 振り返りの大事な時期です。

いよいよ2月になりました。お正月の賑わいを感じたのがついこの間のようですが、気が付けば子供たちが現在の学年で過ごすことができる日数も40日を切ってしまいました。あっという間に過ぎてしまいます。学年末のこの時期に学習内容の振り返りをし、すべての子供たちが自信をもって4月のスタートを迎えられることを目指した指導を進めていきたいと思ひます。

そんな今、学校はこの一年間の教育活動を振り返る大事な時期となっています。年末に皆様にご協力をいただいた保護者アンケートや、地域の皆様からの声、更に子供たちからの言葉、教員自身による反省などを総合的に見て進めています。保護者の皆様から頂いたご意見、感想は様々な分野に渡った貴重なものばかりでした。改めて内容を紹介し、回答を発信させていただきたいと思ひます。ご協力ありがとうございました。

「ゆめ」に向かって

先月19日、東京オリンピックの女子バスケットボールチームを準優勝に導いた代表選手が来校してくれました。東京都が進めている「子供を笑顔にするプログラム」として実施した講演会です。当日は、1・3・5年生、2・4・6年生となのはな学級に分かれて2回講演をしていただきました。小学校2年生の時にもっと足が速くなることを目指して始めたスポーツがミニバスケットボールだったということです。厳しい練習を繰り返す、時には一日に1000本のシュート練習もし、オリンピックの代表に選ばれるまでになったという話を子供たちは真剣に聞いていました。今からオリンピックを目指すのだと目を輝かせている子もいました。子供たちの前で実技も披露してくださいました。高学年児童チーム対選手と教員合同チームによるシュート対決は、僅差で合同チームが勝利するハラハラドキドキの盛り上がる対決でした。5年生、6年生の頑張りにも体育館内に大きな拍手が沸き起こりました。選手は、子供たちに「ゆめ」に向かって努力を続けることの大切さ、「ゆめ」に向かって努力をしている自分に自信をもってほしいということを伝えてくださったのだと思ひます。嬉しいことに立花吾孺の森小学校の子供たちは、みんな「ゆめ」をもっています。昨年発行した周年記念誌の中で堂々と披露してくれています。もちろん「ゆめ」は途中で変わることもあるし、バージョンアップしてさらに大きなものになるかもしれません。「ゆめ」は社会を生きていく上での「力」になります。

数日後、休み時間に廊下を歩いていると低学年児童が質問をしてきました。「先生は、校長先生になることがゆめだったんですか?」と。「いや、初めはね…」と答えながら、「ゆめ」が漠然としていた頃を経て、明確になった瞬間から力の源になっていたということを思い出しました。高校2年生の時に小学校を舞台にしたテレビドラマ「熱中時代」に夢中になり、小学校の先生って格好いいと思うようになりました。主人公の「北野広大先生」になることを「ゆめ」見て進路を決め、浪人生活を経て教員養成系の学校に入りました。教育実習校で北野先生になったつもりで過ごした4週間がその時でした。「必ず先生になるのだ。いや、オレがならなくて誰がなる!」自信過剰な23歳でした。あれから37年、「ゆめ」はまだ続いています。いろいろなことを思い出していました。気が付くと休み時間も終わり、廊下に一人立っていました。

2月の予定

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
30	31	01 朝読書 安全指導日 区小研のため4時間授業	02 集会	03 朝自習	04	05
06 朝会 委員会活動	07 学級の時間	08 朝読書 たちあつ班活動(20分休み)	09 集会	10 朝自習 避難訓練 合同送別会(なのはな) すみだいじめ防止の日	11 建国記念の日	12
13 朝会 クラブ	14 学級の時間	15 朝読書 社会科見学(5)	16 集会 新一年生保護者説明会	17 朝自習	18 (土曜授業) 6年生を送る会	19
20 朝会 B時程(掃除なし) 5時間授業	21 学級の時間	22 朝読書 6年生保護者会	23 天皇誕生日	24 朝自習	25	26
27 朝会 委員会活動	28 学級の時間	01 安全指導日	02	03 4時間授業(1~5) 卒業を祝う会(6)	04	05


(予定表内にあるカッコ内の数字は該当学年です。)

【お願い】・予定は、新型コロナウイルス感染症等の状況により縮小・中止になることがあります。あらかじめご了承ください。

・給食費、教材費について

保護者の方から集めさせていただいた代金で食材業者、教材業者へ支払いをしています。昨今の原価高騰のため支払いが遅れると業者へも多大な負担をかけ、結果児童への給食提供、教材提供が遅れることとなります。


引き落とし期日までに口座入金をどうぞお願いいたします。副校長 三宅 慶進



◎生活目標 寒さに負けず元気に過ごそう

◎保健目標 かせ・インフルエンザを予防しよう

◎給食目標 和やかに会食しよう



連合展覧会



1月18日～21日の期間、両国小学校で墨田区立連合児童作品展覧会が行われました。コロナ禍での開催のため、出品児童保護者のみの参観となりましたが、本校からは29名の作品が出品されました。

墨田区の図画工作研究部会では「思い 広がる 深まる」の研究テーマのもと、授業研究を行っています。子供たちのやってみたいという気持ちを引き出し、持続することができる題材や指導方法を考えています。会場には子供たちの生き生きとした作品があふれ、自分の思いを保護者に伝える児童の姿や、どうやって描いたのだろうと想像しながら鑑賞する来場者の姿がありました。

連合書写展・校内書き初め展

墨田区では毎年区の連合書写展が行われています。今年度も1月25日(水)～28日(土)まで第四吾嬬小学校で行われました。テーマは、「正しくのびのび表現する」です。本校からも各学年代表の作品を選び、出展しました。みんな堂々とした文字で書くことができていると素晴らしいです。



校内書き初め展6年生の作品



校内でも書き初め展が行いました。保護者の方々には放課後來校いただき、お子さんの作品を見ていただけたと思います。冬休み前から練習し、冬休み明け学校で、清書を書く時間をそれぞれ設けました。書き初めを書くみんなの姿はとても集中していて感心させられました。どの子供ののびのびと表現していました。



オーケストラ鑑賞教室(6年) わくわく音楽道(3・4年)

12月6日(火)に「オーケストラ鑑賞教室」が行われました。6年生はオーケストラ「新日本フィルハーモニー交響楽団」の演奏を聴きに、墨田トリフォニーホールへ行きました。様々な楽器の音の重なり合い、パイプオルガンの荘厳な響きなどたくさんの音に触れ、本物の楽器を実際に見て、音楽を間近に感じることでできる貴重な体験となりました。音楽の時間に学んだベートーヴェンの交響曲第5番「運命」から、「マツケンサンバ」など身近な曲まで様々な演奏を聴き、リズムに乗って体を動かすなど楽しそうに鑑賞する6年生の姿が見られました。

12月23日(金)には「わくわく音楽道」が行われました。新日本フィルハーモニー交響楽団から、ヴァイオリン、ヴィオラ、コントラバスの演奏家が来校し、3・4年生の児童は体育館で生演奏を聴くことができました。「ドレミの歌」や「となりのトトロ」、ドヴォルザーク作曲の「ユーモレスク」など様々な曲を鑑賞しました。3・4年生は演奏者の手元を見たり、集中して音楽を聴いたりしていました。また質問コーナーでは「弦をおさえる場所が分からなくなることはありますか?」「なぜ弦の上で指を震わせて弾くのですか?」など、手を挙げて様々な質問をし、興味津々に話を聴く姿が見られました。

